

決 裁	市 長	副市長	教育長	部 長	課 長	プラネタリウム	郷土資料館

会議（打合せ）報告書（概要）

会 議 名	平成30年度第2回白井市郷土資料館運営協議会会議						
場 所	白井市文化センター2階 研修室				日 時	平成31年2月8日(金) 15:30~17:15	
報 告 者	郷土・プラネタリウム班	職・氏名	主査補 松丸 葉子				
出 席 者	(委 員) 倉田委員(会長)・古里委員(副会長)・飯島委員・横山委員・小林委員・平野委員・阿部委員・杉原委員(8名)						
	(事務局) 川上館長(センター長) 生涯学習課 戸谷主査補 郷土資料館 酒井主査補・松丸					傍聴者	0名

1.開 会

2.あいさつ

○倉田会長より

- ・近年、博物館が学校内資料室【学校内にある歴史資料室（考古・歴史・民俗資料等を展示）】のテコ入れや新規開設を支援する活動が注目されている。
学校の歴史資料室は開設当初は機能していたが、次第に収蔵庫化ないしは物置となってしまった例が多い。そこで、博物館はその展示ばかりでなく、収蔵資料の整理から資料室の運営まで、学校や地域の人々と協力し、継続的な歴史資料室の運営を目指そうといった活動で、少しずつですが、こうした博物館の活動が広がってきています。
白井市内にも収蔵庫化している学校内歴史資料室があれば、郷土資料館・学校・地域の方々が協力し歴史資料室の活性化ができるのではないかと思います。

○井上教育長より

- ・郷土資料館では委員の皆様のご意見を賜りながら、様々な事業に取り組ませていただいている。昨年は市役所庁舎が本庁舎、東庁舎（旧本庁舎）が完成し、東庁舎1階に白井市民づくりサポートセンターを設置し、多目的スペースをもうけ、作品の展示ができるようになっており、既に絵や写真など様々なものが展示されている。
- ・図書館においては、現在、図書館サービスについて閉館時間、貸出冊数等の調査研究を行い、動向を調べているところである。
- ・本日は、第2回目の会議となる。郷土資料館の運営に対する十分なお審議を賜り実りある会議にしたい。

3.議題（議長：倉田会長）

委員全員出席により「本会議が成立」及び審議会等会議公開の指針に基づき「公開会議」であることを報告。

同規則第10条により、会長が会議の議長となる

- (1) 平成30年度事業報告について・・・資料に基づき事務局(郷土資料館)より説明
審議結果・・・大きな指摘事項等はなかった。

[質疑応答]

- 会 長：来年度事業にかかわることだが、資料調査・収集・整理の項目のとおりで、通年となっているが、具体的には、何の調査するのか、また、収集では何を中心に収集をしているのか、継続している調査は何か。通年調査では内容が見えてこない。
- 事務局：30年度の資料調査は、企画展のための調査で、通年通しての調査は行っていない。お札をいただいたので、そのお札の整理は行っている。現状、積極的な調査はおこなっていない。
- 会 長：なぜ、このような質問をしたかということ、通常、博物館で、調査研究を進めていく場合、調査期間の長短はあるが、その成果を調査報告書という形で刊行し、公表している。白井市の郷土資料館の場合、展示にかかわる出版物はあるが、調査研究にかかわる成果が見えてこない。
- 事務局：現状、調査研究に関する出版物を刊行する計画はない。
企画展に関するリーフレットの刊行が現状である。
- 会 長：わかりました。平成30年度事業状況報告書についてどうか。
- 副会長：貸出事業、生涯学習課とは、目的はどういうものか。
- 事務局：館外へ持ち出してということで、貸出という手続きをとった。
- 生涯学習課：民俗調査を実施していく中で、白井市の衣食生業関係を記録しようとしている。その中で、白井市の農作業にどのような道具を使っていたか、道具の測量するにあたり、郷土資料館に収蔵している民具、のみ、鋤を実測するため借用した。既に返却を済ましており、今回、燻蒸もした。
- 副会長：そのものを実測したということか。
- 会 長：生涯学習課で民具調査がおこなわれ、その関係で民具を実測するということか、今後も続くということか。
- 生涯学習課：生涯学習課の事業として行っているが、郷土資料館の充実も図っていく予定である。
- 会 長：別紙の2を見ているのだがさくらぎ会というのはどのような会か。
- 事務局：古文書を読む会になる。
- 副会長：古文書講座の受講された方の…
- 事務局：受講後に立ち上げたサークルではない。以前からある団体である。
- 会 長：古文書講座受講後に、受講生が作った会はあるか？
- 事務局：そういった会は、ない。
- 副会長：来館者が2,000人くらい増えているが、何かあったのか。
- 事務局：庁舎改修のため、公民館等で行われた文化祭が、今年は、文化センターで行われたことと、県の鉄道写真巡回展を行ったため、増えたと思われる。
- 会 長：団体見学の受け入れだが、季節性があるのか？プラネタリウムを外した場合どうなるか？
- 事務局：プラネタリウムを外した場合は、1月下旬に白井第二小学校が毎年、郷土資料館の見学というプログラムを組んで来館している。
- 副会長：職員の派遣について書いてあって1回に人数がない、実際にはどうなのか。
- 事務局：実際には印西市の吉岡塾で、木下街道の関係で講師として非常勤が、派遣された。
参加人数につきましては、次回の会議で報告したいと思う。
- 会 長：研修等への参加だが、千葉県博物館協会の研修しか言っていないように見える。そのほかにも参加したのか。
新しい情報がどんどん出ているので、千葉県博物館協会の総会、研修に参加するだけでは、足りないと思う。
- 事務局：今年は、博物館協会の総会、研修と歴博の内覧会に参加している。
- 会 長：良い研修があったら、どんどん参加して、知識を深めてもらいたい。
事業状況報告で、これ以上質問がなければ、次年度の事業計画(案)に移らせていただく。
よろしければ、平成31年度事業計画(案)の説明をお願いします。

～ 以上で平成30年度事業状況報告についての質疑終了 ～

(2) 平成31年度事業計画(案)について・・・資料に基づき事務局(郷土資料館)より説明
審議結果・・・大きな指摘事項等はなかった。

[質疑応答]

副会長：郷土資料館に掛かる予算を差し支えなければお願いしたい。

事務局：企画展がないので、だいたい通常の半分 50 万円程度、全体では、350 万円程度である。

委員：折立〇〇出身の〇〇さんは、〇〇歯科大学の教授や病院を歴任した、歯学会では有名で、歯学会で知られている人がだが、先駆者にならないのか。

会長：その方について、存じあげないが、ご存命ではないのでは？

委員：はい。

会長：亡くなられてどのくらい経つのか。

委員：そこまでは調べていない。

会長：ある程度の年数を経て、評価が確定しないと難しいかと思う。

委員：わかった。

委員：資料を集めている倉庫は、見ることができるのか。自分が寄贈するようと、地元の人に依頼したが、その目録があるのか。市に保管されている資料は、一覧表のようなもので、見ることができるのか。

会長：それでは、生涯学習課にお願いする。

生涯学習課：資料については、郷土資料館と教育委員会で収蔵しているものがある。郷土資料館に寄託、寄贈している場合、所有者の方に文書を出している。

生涯学習課で相談を受けたものであっても、郷土資料館の展示に供せるもの、展示に活用性の高いものは、郷土資料館に収蔵している。

生涯学習課で収めたものには、物の質によっては、文書を出しているものと、そうでないものがある。

古文書については、郷土資料館で寄贈、寄託している場合は、文書を出している。

生涯学習課での古文書調査の場合は、文書を出して、極力目録を作成して最終的には、本を刊行する予定である。今年度は 2 冊刊行予定である。

収蔵したものの一覧表は、郷土資料館については、収蔵品目録を作成している。

委員：閲覧は出来るのか。

事務局：一般にはしていない。

会長：図書館に資料館の資料目録をおいてないのか。

事務局：図書館にはない。生涯学習課で作成した目録は図書館に置いてあるが、郷土資料館の資料目録は、現在、一般に公開はしていない。

企画展など、関連するときに郷土資料館の収蔵庫から選んで展示している。

全部を展示するのは難しいと思うが、展示できるものは、出していこうと思っている。

委員：いいえ、一覧表の事だ。

事務局：目録は、一般に公開できるようにはできていない。

委員：だから欲しいと言っている。

会長：〇〇委員が言っているのは、古文書の目録だけですか。

委員：いいえ、収蔵庫にあるものです。

会長：生涯学習課の収蔵庫にある資料か。

委員：そうである。生涯学習課の収蔵庫にもたくさんあるのではないかと、それが一般的に知られてない。

会長：手早くできるのはインターネットを使って収蔵品を公開することだと思う。

生涯学習課で収集した資料の一部、古文書は図書館で目録をみることができる。

委員：古文書ではなく、ものである。

生涯学習課：郷土資料館の目録は、現在一般に出せるような整備はしていない。生涯学習課で収集しているものは、目録を作成していない。郷土資料館にある民具、重複しているものは、(生涯学習課で)収蔵している。郷土資料館にあるものは、市民に対する展示の機会としては一定の物については、確保している。

会長：(郷土資料館にある)資料の情報公開は、重要な話と言える。問題のない資料に限られるが、公開に向けて少しずつ進めていくべきかと思う。画像と併せて公開できれば理想的だと思う。

委員：写真をスキャンして、エクセル以外のデータベースソフトに入れることは、考えてないのか。

事務局：今のところ、考えていない。

委員：実際の民具とかは、どれくらいの量があるのか。

事務局：今すぐには、出てこない。

委員：週に 1 回、月に 1 回だけでもコンスタントにやっているとデータベース化はできると思う。

少しずつでもいいので、デジタル化の検討をしたほうがいいと思う。

会長：委託して行うのも、一つの方法かと思う。

他の市町村でやはり民具の調査を委託して、実施しているところもある。現状の中で、可能な方法を積極的に考えて欲しい。

副会長：資料利用 4 件とあるが、ここに資料があることをどの様に知ったのか。

事務局：さくらぎ会に関しては、市内の古文書を読みたいと相談があった。
こちらから古文書を提示して、コピーを渡している。

委員：コピーは、本紙を直接コピーしたのか。

事務局：はい、直接コピーをしている。

委員：コピーよりは、写真で撮影したものを提供する方がいいと思う。
コピーは光が強いので、劣化する恐れがあるので避けることが多い。

事務局：コピーがあるものは、コピーからですが、コピーがない場合は、直接ということが多い。

委員：複製に関して、こういった利用があるならば、提供の方法を検討されてはいかがか。

会長：いろいろ、資料の取り扱いについて、ご意見がありましたので、郷土資料館でも積極的に取り組んでいただきたい。

委員：団体見学受入ですが、現在、第二小学校1校ということだが、小学校高学年には、授業の一環として、半ば強制的に見学するようにPRしてみても。

会長：先ほど校長会でもPRされたということですが、阿部委員いかがか。

委員：活用するのであれば、高学年の歴史の導入のあたりですかね。指導要領に則って授業していますので、郷土資料館のみで時間を作るのは、難しい。
2020年には、3、4年生の指導要領の内容が変わるので、そのとき使用する副読本「私たちの白井市」で、郷土資料館の資料を活用していきたい。
ただ、今後も郷土資料館だけに足を運ぶとなると時間に制約があるため、難しい。

会長：2020年には、教科書の内容が、多少変わるということか。

委員：はい。その通りである。

委員：新任の教員は、初任者研修で必ず郷土資料館を訪ねて、講義を受けるようなことはあるのか。

生涯学習課：社会科担当の教員対象の研修会の要請をうけて、毎年7月あたりに行っている。

会長：今後、教科書の改訂に伴って、資料館もいろいろ対応してゆく部分もあるかと思う。
学校と連絡を密にして、臨んでいただきたい。
その他、ご質問あるか。なければ31年度事業計画（案）について終わりとする。

委員：資料館の収蔵スペースについてお伺いする。資料を受け入れる余裕はあるのか。

事務局：収蔵スペースに余裕はない。

委員：収蔵庫の面積は。

会長：90㎡と書いてある。

事務局：郷土資料館として管理しているのは、3階にある収蔵庫のみです。他は生涯学習課で管理している。

生涯学習課：今は、市役所の倉庫や学校に間借りして保管している状況である。

委員：集約して、収蔵するという計画はあるのか。

生涯学習課：生涯学習課と郷土資料館の収蔵庫を一か所にする計画は、具体的にはない。
郷土資料館で受けきれないものについては、生涯学習課で受け入れ、郷土資料館の展示に供せるものとそうでないものと、収蔵仕分けしてスペースを確保している。

会長：場所については、あらゆる機会を利用して確保できるよう努力していただきたい。

～ 以上で事業報告についての質疑終了 ～

3.その他

事務局(郷土資料館)より

◎課長より、任期期間中の会議が今年度で最後となるため、お礼の挨拶

※【意見及び質疑なし】

4.閉会